



昭和小だより

No. 9

文京区立昭和小学校

令和2年1月8日

校長 杉本 謙

心を豊かにする一年に

校長 杉本 謙

明けましておめでとうございます。令和2年が始まりました。今年の7月24日(金)には、東京オリンピックが始まり、続けてパラリンピックも開催されます。日本中に活気があふれ、記念すべき一年となることでしょう。また、多くの外国人観光客が日本を訪れ、日本の素晴らしい文化や人たちに触れる機会となることでしょう。この時に昭和小学校の子供たち一人一人が、日本のよさを感じ、世界各国の人や文化に触れ、心を一層豊かにできることを期待しています。

現在、昭和小学校では、次のような「人と人がふれ合う交流学習」を進めています。昨年末、6年生がアジア学生文化協会(ABK)の留学生40名と交流会をもちました。子供たちは、交流の中で自分と似たところや違うところを気付くとともに、日本語をまだ十分に理解できない留学生たちを気遣い、ゆっくり丁寧に話す等の工夫をしていました。相手の立場になって接することの大切さを学ぶ良い機会となりました。

この他にも、9月に3年生が昭和小学校に併設されている文京昭和高齢者在宅サービスセンターの皆さんにダンスを披露しました。2月には1年生が幼稚園・保育園との交流学習を行う予定です。

人と接する機会をもつことは、相手の気持ちを考え、相手のために頑張りたいという思いを起こすことにつながります。「共に喜ぶと喜びは倍になり、共に悲しむと悲しみは半分になる。」という言葉があります。AI技術が進み、人の代わりにすることが増える時代が到来していますが、相手を思いやる気持ちとそこから生まれる行動力は、人にしか生み出せないものだと考えます。人を大切にし、人のために努力する子供たちを、教職員が心を一つにして育てていきたいと思っています。

学校として夏期休業中にオリンピック・パラリンピックの観覧を検討し、東京都と調整中です。予定がはっきりしましたら、お知らせいたします。



快晴の中、新年をスタートする昭和小

～教室の窓から～ 「2019年から2020年に向けて」

第6学年主任 足立 克巳

昨年を振り返ると、『2019 ユーキャン新語・流行語大賞』に「ONE TEAM」が選ばれるなど、ラグビーワールドカップ日本大会に沸いた1年でした。

今年の6年生のスローガンはラグビーの精神を表す、「One for all, All for one」「一人はみんなのために みんなは一人のために」を目標に掲げてスタートしました。日頃の学校生活や魚沼移動教室、運動会や学習発表会などで、友達のことを思い、自分の役割に責任をもち、学年としての目標に向けて努力する姿が多く見られ、大きな成長を感じました。

この3学期も残り53日になりました。この残りわずかな学校生活をより充実したものにするために、「自主性と感謝」を大切に、卒業に向けて取り組んでいきます。

例えば、「昭和小の下級生にどのようなことを引き継いでいってほしいか。」や「卒業式に向けて学年がもっと団結するためにはどうしたらよいか。」など、子供たちが自主的に話し合い、卒業に向けて自分たちができることを考え、計画を立てています。

令和初の卒業生として昭和小で学んだことを胸に、新たなステージで、一人一人が活躍することを期待しています。